

2003年10月20日

報道用資料**スズキ・アルトラパンが軽自動車の商品性魅力度調査で第1位****2003年日本軽自動車商品性評価(APEAL)調査**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J. D. パワー アジア・パシフィック（本社東京、蓮見南海男社長、略称 J. D. パワー）は、2003年日本軽自動車商品性評価（Automotive Performance, Execution and Layout、略称 APEAL）調査の結果を発表した。

APEAL 調査とは、軽自動車の性能やデザインに関する商品性魅力度というポジティブな面について、「スタイリング/外装」、「エンジン/トランスミッション」、「快適性/利便性」、「内装/インパネ」、「オーディオ」、「乗り心地/ハンドリング」、「シート」、「空調関係」の8カテゴリー、110項目以上にわたるユーザー評価を1,000点満点の APEAL スコアであらわしたものである。

今年の調査は2002年12月から2003年5月の間に軽自動車を新車で購入した個人ユーザーを対象に2003年7月に実施し、2,298人から回答を得た。調査対象車は軽自動車市場における販売シェアの約95%を占める7メーカー、22モデルである。

◆2年目モデルが総合 APEAL スコアで1位と2位を獲得◆

モデル別ランキングでは、ランキング対象となった9モデル中、スズキ・アルトラパンが690ポイントで第1位となった。アルトラパンは APEAL の8カテゴリー中6カテゴリーで最も評価が高い。特に「スタイリング/外装」と「内装/インパネ」の各カテゴリーで他モデルを大きく引き離して高く評価された。

次いで第2位には、655ポイントの同スコアで三菱・eKワゴンとダイハツ・ムーヴが入った。第4位はスズキ・MRワゴン（646ポイント）、第5位はスバル・プレオ（640ポイント）であった。業界平均スコアは628ポイントで、上記の5モデルがそれを上回る結果となった。

APEAL スコアは、商品の魅力度を測定するその性質上、新型車投入時に高く、時間の経過と共に低下する傾向があるため、一般的には新型車に有利な状況にある。実際、昨年調査では新規参入したモデル（ザッツ、マックス、MRワゴン等）がランキングの上位を占めていた。しかし、今年はランキング対象のモデルのうち新型車はダイハツのムーヴとミラの2モデルのみで、2年目のモデルであるアルトラパン、eKワゴン、MRワゴンの健闘が目立った。

◆限られた軽自動車枠内で各モデルが巧みに差別化◆

軽自動車ユーザーが車両の魅力を評価する際には、昨年同様、8つのカテゴリーの中で「スタイリング/外装」を最も重視している。続いて「エンジン/トランスミッション」、「快適性/利便性」、「内装/インパネ」の順で総合 APEAL スコアへの影響度が高い。

ランキング上位のモデルは、いずれも「スタイリング/外装」、「快適性/利便性」で評価が高いものの、モデル毎の詳細評価は多様である。ランキング第1位のアルトラパンは、内装のデザイン・仕上げに関する項目が高く評価されており、次いで第2位の eK ワゴンは、カップホルダーやボディーカラーに関する項目で高い評価を得ている。また、同順位のムーヴについては、eK ワゴン同様カップホルダーに関する項目に加え、室内空間と収納スペースに関する項目が特に高く評価されている。車両選定理由については、アルトラパンの7割近くのオーナーが「外観/スタイリングの良さ」を最も重視しており、eK ワゴンでは「スタイリング/外装」と「価格」がそれぞれ4分の1と選定理由が分かれている。さらにムーヴについては3割近くのオーナーが「居住性/荷物スペースのゆとり」を購入時に最重視しているなど、軽自動車という限られた枠内で各モデルがうまく差別化されていることが明らかになった。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（略称 JDPA、本社米国カリフォルニア州）の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D. パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

<本調査に関するお問合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 川野

住 所： 東京都中央区日本橋富沢町 10-16 マイアーク日本橋ビル（〒103-0006）

電 話： 03-5695-4568

F A X： 03-5695-0617

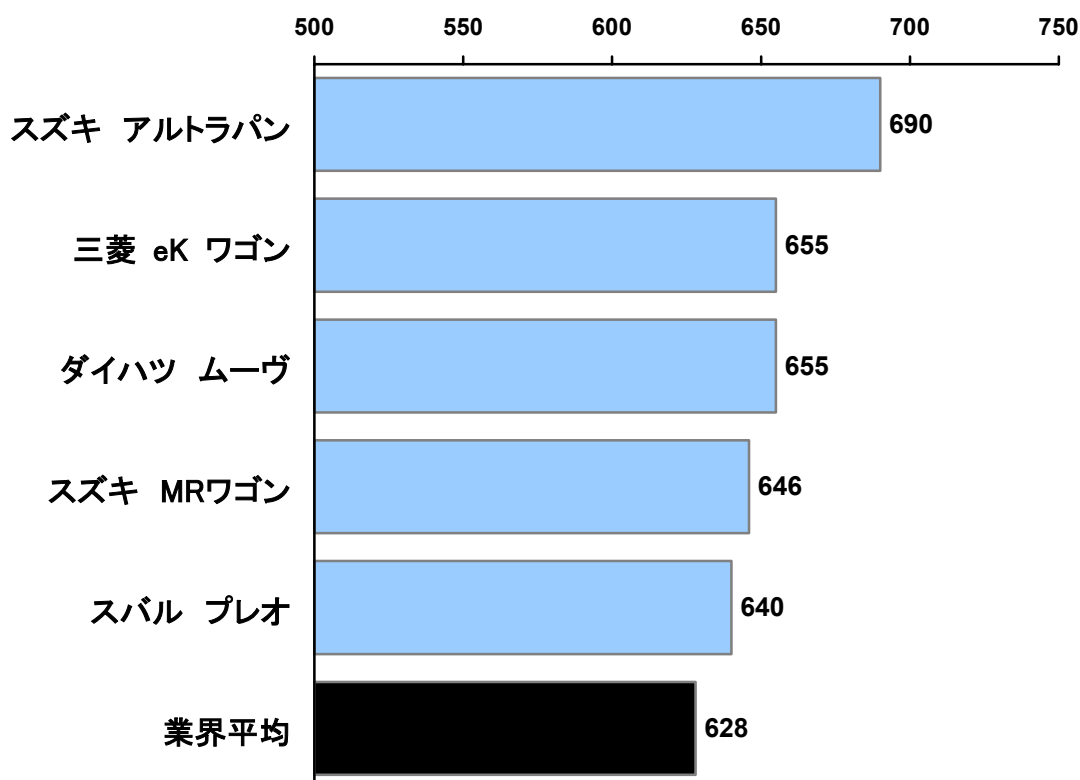
e-mail： mkawano@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本軽自動車商品性評価(APEAL)調査SM

モデル別ランキング (1,000ポイント満点)



業界平均以下のモデル(アルファベット順): ホンダ ライフ、ダイハツ ミラ、ホンダ バモス、スズキ ワゴンR

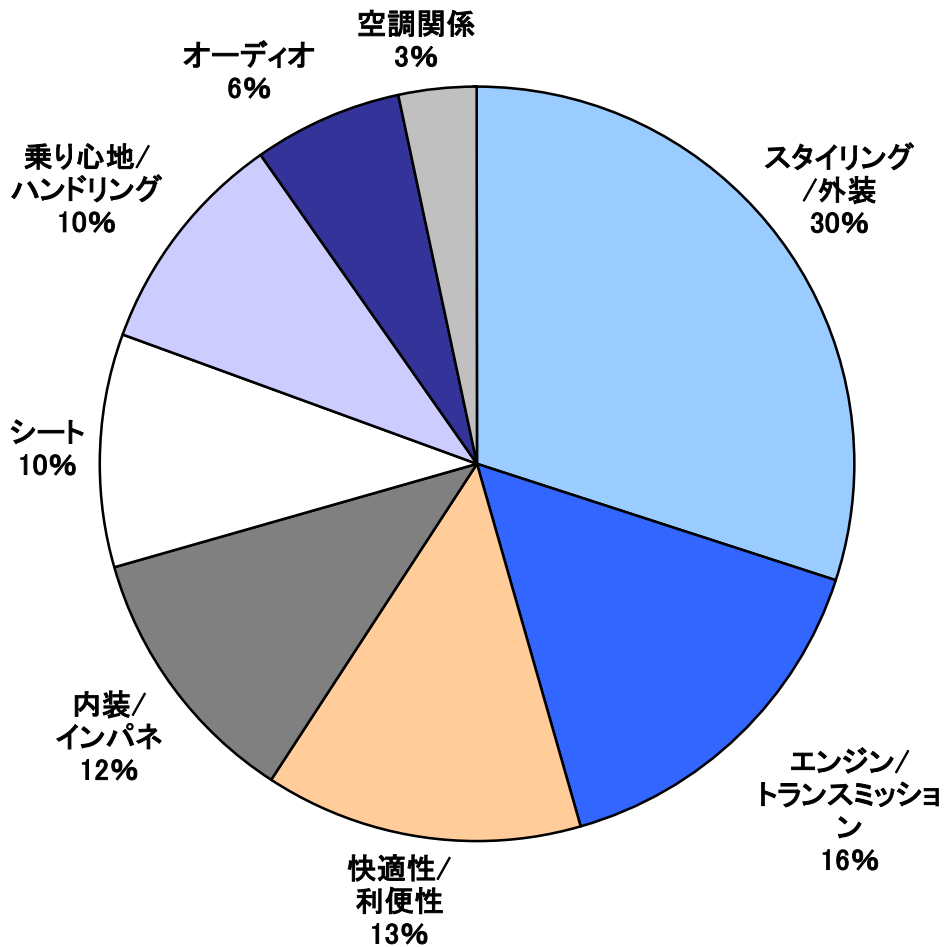
出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本軽自動車商品性評価調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年日本軽自動車商品性評価調査SM)を明記して下さい。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本軽自動車商品性評価(APEAL)調査SM

総合 APEAL スコアを構成するファクター



出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本軽自動車商品性評価調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年日本軽自動車商品性評価調査SM)を明記して下さい。